

5 水道用水供給事業の業務状況

(1) 事業の概要

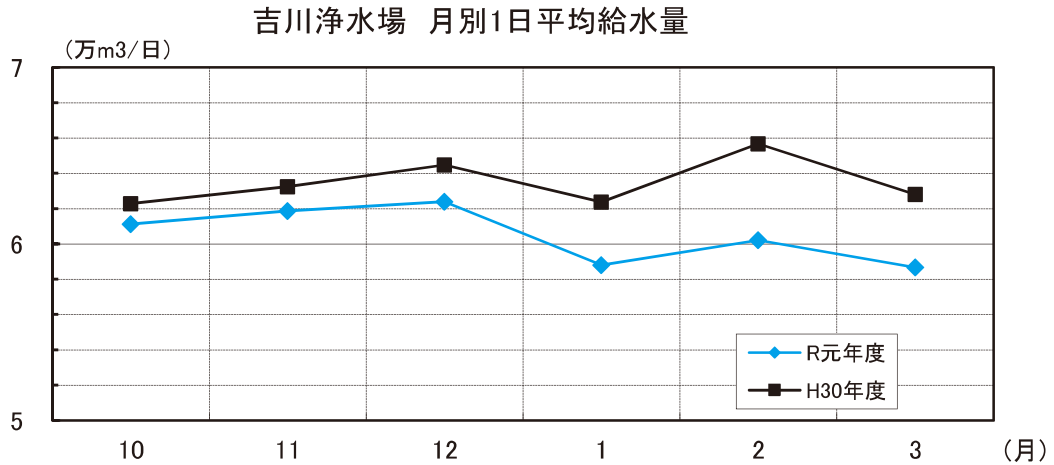
各市町が行っている水道事業への供給事業として、水道水の広域的、安定的な供給を行うため、湖南水道用水供給事業を行っています。

水道施設名	給水開始	給水先	給水人口
吉川浄水場 給水能力 81,100 m ³ /日	昭和 53 年 8 月	近江八幡市、草津市、 守山市、栗東市、 甲賀市、野洲市、 湖南市、東近江市、 日野町、竜王町	698,963 人 (R2.3.31 現在)
馬淵浄水場 給水能力 82,700 m ³ /日	昭和 54 年 11 月		
水口浄水場 給水能力 35,000 m ³ /日	昭和 59 年 6 月		

○給水状況

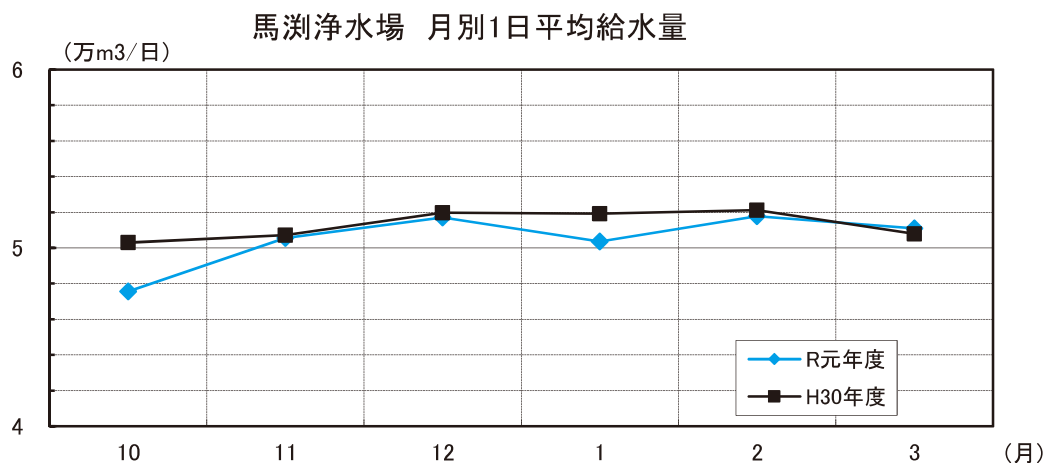
①吉川浄水場

令和元年度下半期の給水状況は、1日平均給水量60,504 m³となっています。
1日平均給水量を前年度同期と比較すると、2,937 m³ (4.6%) 減少しました。



②馬淵浄水場

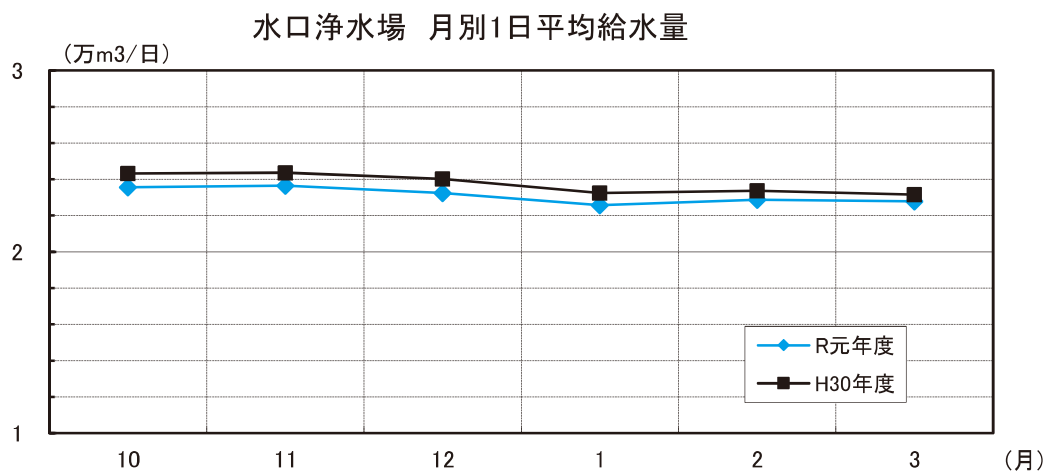
令和元年度下半期の給水状況は、1日平均給水量50,496 m³となっています。
1日平均給水量を前年度同期と比較すると、799 m³ (1.6%) 減少しました。



③水口浄水場

令和元年度下半期の給水状況は、1日平均給水量23,116 m³となっています。

1日平均給水量を前年度同期と比較すると、632 m³ (2.7%) 減少しました。



○建設改良事業の状況

①吉川浄水場

令和元年度下半期は、吉川浄水場耐震対策建設工事等に着手しました。

②馬淵浄水場

令和元年度下半期は、日野ライン管路更新工事や馬淵浄水場無停電電源装置更新工事等を上半期に引き続き実施しました。

③水口浄水場

令和元年度下半期は、空調設備更新工事等に着手しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和2年2月定例会議において、事業収益については給水収益の増加等により86,442千円の増額補正を、事業費用については業務費の減少等により114,906千円の減額補正を行いました。また、補助金の増加に伴い資本的収入を8,010千円増額補正し、工事費の減少等に伴い資本的支出を231,311千円減額補正しました。

○令和元年度予算の執行状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
水道用水供給事業収益	5,089,100	—	86,442	5,175,542	5,144,007	99.4
営 業 収 益	4,799,110	—	41,754	4,840,864	4,833,196	99.8
営 業 外 収 益	289,990	—	44,688	334,678	310,811	92.9
水道用水供給事業費用	4,455,600	—	△ 114,906	4,340,694	4,267,930	98.3
営 業 費 用	4,138,466	—	△ 214,401	3,924,065	3,884,074	99.0
営 業 外 費 用	317,134	—	99,495	416,629	383,856	92.1

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
資 本 的 収 入	105,000	—	8,010	113,010	81,233	71.9
補 助 金	105,000	—	8,010	113,010	81,233	71.9
資 本 的 支 出	1,999,000	138,688	△ 231,311	1,906,377	1,662,280	87.2
建 設 改 良 費	1,214,927	138,688	△ 223,478	1,130,137	887,311	78.5
企 業 債 償 還 金	746,587	—	—	746,587	746,586	100.0
固 定 資 産 購 入 費	37,486	—	△ 8,112	29,374	28,104	95.7
補 助 金 返 還 金	—	—	279	279	279	100.0

(注) 1 補正予算額は、令和2年2月定例会議における補正予算額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、給水収益の減少等により、対前年度比0.9%減少の4,743,543千円となりました。一方、事業費用は、業務費等の増加等により、対前年度比0.6%増加の3,932,648千円となりました。この結果、純利益は前年度より66,664千円減少し、810,895千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和元年度 決算額 (A)	平成30年度 決算額 (B)	比 較 増 減		
			(A)－(B)	(A)/(B) %	
水道用水供給事業収益	4,743,543	4,788,481	△	44,938	99.1
営 業 収 益	4,434,217	4,450,440	△	16,223	99.6
営 業 外 収 益	309,326	338,041	△	28,715	91.5
水道用水供給事業費用	3,932,648	3,910,922		21,726	100.6
営 業 費 用	3,783,872	3,758,737		5,135	100.7
営 業 外 費 用	148,776	152,185	△	3,409	97.8
当 年 度 純 利 益	810,895	877,559	△	66,664	92.4

②財務状況

令和元年度末の総資産は、前年度より370,531千円(0.7%)減少して54,705,471千円、また、負債は1,181,427千円(7.2%)減少して15,238,914千円となり、資本は810,896千円(2.1%)増加して39,466,557千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和元年度 決 算 額	平成30年度 決 算 額	比較増減	科 目	令和元年度 決 算 額	平成30年度 決 算 額	比較増減
固定資産	41,760,766	43,192,337	△1,431,571	固定負債	8,934,934	9,613,660	△ 678,726
流動資産	12,944,705	11,883,665	1,061,040	流動負債	1,587,067	1,902,945	△ 315,878
				繰延収益	4,716,913	4,903,736	△ 186,823
				負債合計	15,238,914	16,420,341	△ 1,181,427
				資本金	32,243,006	31,361,037	881,969
				剰余金	7,223,551	7,294,624	△ 71,073
				資本合計	39,466,557	38,655,661	810,896
合 計	54,705,471	55,076,002	△ 370,531	合 計	54,705,471	55,076,002	△ 370,531

③企業債の状況

令和2年3月31日現在の企業債の現在高は8,119,045千円です。

(3) 令和2年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給により公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度は8市2町に1日平均130,760 m³の水道用水を供給する予定としています。

本年度については、吉川浄水場耐震対策工事を引き続き実施するとともに、施設の老朽化等に対処するため馬淵浄水場の排水処理設備更新工事や朝国導水ポンプ場の電動機更新工事等に着手することとしています。

○令和2年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
水道用水供給事業収益		5,111,800
	営業収益	4,768,737
	営業外収益	343,063
水道用水供給事業費用		4,295,600
	営業費用	4,124,398
	営業外費用	171,202

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		377,200
	補助金	247,700
	出資金	129,500
資本的支出		4,950,200
	建設改良費	4,231,993
	企業債償還金	699,624
	固定資産購入費	18,583

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。